

## 4 維持管理の今後の進め方

### (1) 運営体制

県営水道の職員が担う専門性の高い業務を継続し、技術レベルを向上させていくため、人材の育成及び技術の継承を図る。さらに浄水場運転管理の委託業者への指導・監督能力の更なる向上のため、また、事故・災害時等の危機管理上、臨機の対応を図るため、各水系の拠点となる浄水場は引き続き県による運転管理体制を堅持する。

### 今までの取り組み

県営水道の運営に長年従事した職員の多くが定年退職することに伴い、浄水場運転管理業務の一部や送配水管路の巡視点検業務について、順次、民間委託を活用している。

平成12年度～	弥富ポンプ場、筏川取水場運転管理業務の民間委託
平成16年度～	送配水管路施設の巡視点検業務の民間委託
平成18年度～	知多浄水場はじめ4浄水場の排水処理PFI事業の開始
平成20年度～	幸田浄水場、豊橋浄水場運転管理業務の民間委託
平成21年度～	高蔵寺浄水場運転管理業務の民間委託
平成22年度～	上野浄水場、犬山浄水場運転管理業務の民間委託
平成23年度～	豊田浄水場はじめ6浄水場の排水処理PFI事業の開始
平成25年度～	豊橋南部浄水場運転管理業務の民間委託

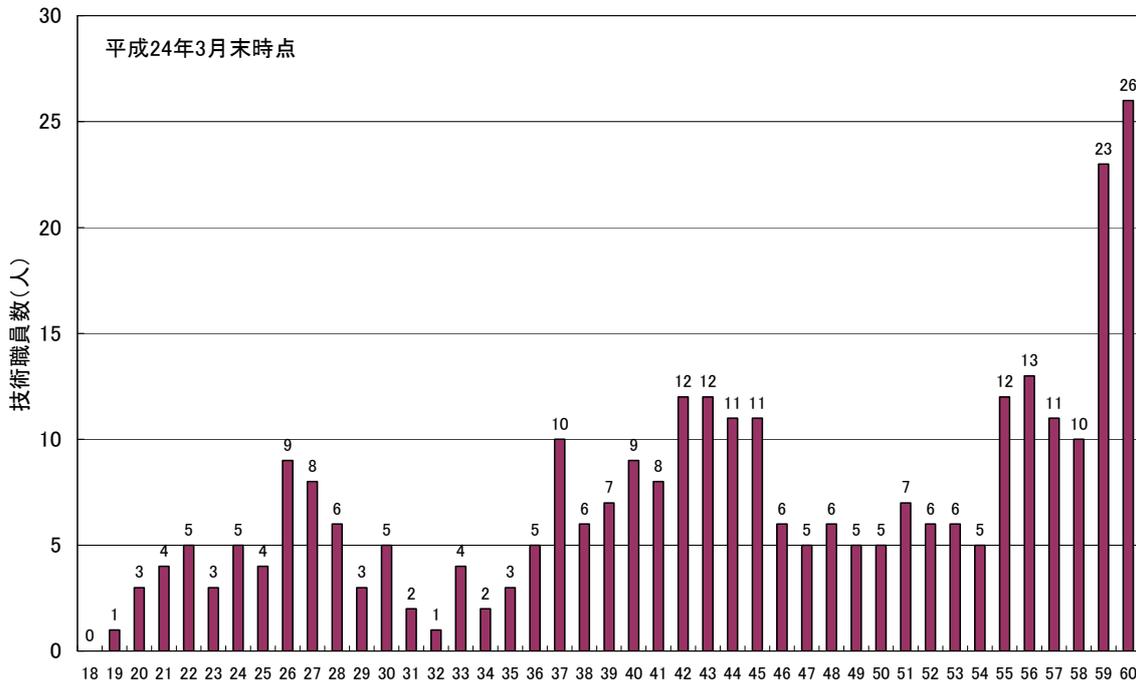


図 1 技術職員の年齢構成

### 課題

- 団塊世代職員の大量退職により経験豊富な技術職員が減少している一方で、経験の浅い若手職員が増加しており、職員の技術力を維持・向上する必要があること。
- 民間へ委託している業務について、県側で民間業者への指導・監督能力を保持するとともに、民間へ委託している業務内容の更なる品質向上に努める必要があること。

### 今後の取り組み

- 次の施策等を実施することにより、人材育成や技術継承を進める。
- 職員研修による各分野別の知識習得（建設、維持業務等）
- 浄水場計装設備の運転操作手法の統一化による業務習熟期間の短縮化

## (2) 受水団体との連携

受水団体においても県と同様に技術継承を課題としていることから、水道事業者間での連携した危機管理訓練や実技研修などを引き続き共同で実施することにより人材育成に取り組む。

### 今までの取り組み

県営水道の運営に対し、受水団体の意見を反映していくことが重要と考え、年2回受水団体との意見交換会を開催しており、この意見交換会では、地震災害や水質事故などに対する安定供給対策の推進や水道PR活動、技術継承研修の共同実施等を求める意見が出されている。このため、県営水道では受水団体との連携したソフト面の取り組みとして、受水団体と共同で技術継承研修会や防災訓練などを行っており、平成23年度には、県営水道給水50周年PR活動事業を県と受水団体との共催で実施している。



図 2 地域住民や受水団体と連携した共同防災訓練

### 課題

- 受水団体においても県と同様に技術継承を課題としており、受水団体と共同で人材育成のための取り組みが必要なこと。

### 今後の取り組み

- 受水団体と連携した技能研修、防災訓練等を実施する。

### (3) 環境への取り組み

尾張地域の2浄水場へ排水処理PFI事業を導入し、浄水場汚泥の一層の有効利用を促進する。また、固定価格買取制度による買取価格の動向等を注視し、水供給の安全性及び採算性を勘案しつつ、再生可能エネルギー導入の可能性を検討する。

#### 今までの取り組み

県営水道では浄水場の水処理過程で発生する汚泥の脱水処理から発生土処分までの一連の工程で必要となる施設整備（脱水機の新設・増設・更新等）と管理運営について、民間の資金や手法を活用するPFI事業を平成18年度に知多浄水場はじめ4浄水場へ、平成23年度からは豊田浄水場はじめ6浄水場へ導入しており、このPFI事業により施設整備と維持管理の両面における公費負担額の削減に加え、従前までは発生土の一部を産業廃棄物として処理してきたが、園芸用土などへより一層の有効利用を促進することにより、循環型社会の実現に努めてきた。

また、浄水場等の水道施設は電力を大量に消費することから、浄水場における夜間電力の有効活用や省エネルギーの機器導入等による省エネルギー対策を実施してきたほか、浄水場浄水池上部を活用した太陽光発電を一部導入することにより、環境への取り組みを実施してきた。

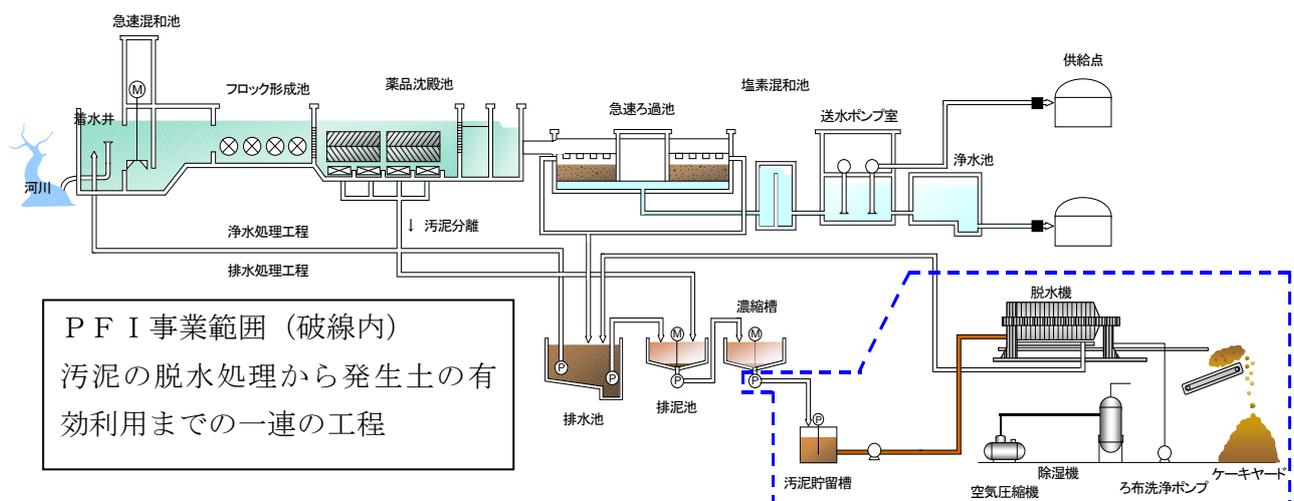


図3 PFI事業概要図

#### 課題

- 県営浄水場の排水処理業務を対象にしたPFI事業は、既に導入した事例において財政面や廃棄物の有効利用等の事業効果を挙げていることから、PFI事業を導入していない残る尾張地域の2浄水場への導入検討が必要なこと。
- 浄水場などの水道施設は電力を大量に消費することから、再生可能エネルギーの活用などにより、環境負荷の低減に努める必要があること。

#### 今後の取り組み

- 犬山・尾張西部浄水場への排水処理PFI事業の導入と浄水場未利用地を活用した太陽光発電の可能性を検討する。